

令和4年度 恵那北小学校だより 9月20日号

げんきたっ子



ぐんぐん伸びるゴールデンエイジ

校長 市川 伸美

「這えば立て、立てば歩めの親心」—これは、子どものすこやかな成長を楽しみに待つ親の気持ちを表しています。生まれたばかりで何もできなかった子が、小さな一歩を積み重ね、1年ほどで何と大きな成長をすることでしょう。その期間でも、それぞれできるようになる時期は様々ですね。

「ゴールデンエイジ」という言葉があります。子供の運動能力が著しく発達する時期のことで、10歳前後をそう呼ぶのだそうです。まさに小学生の時期ですね。この時期に、さまざまな動きを経験させ、神経系により多くの刺激を与えることが重要だとされています。

2学期も子供たちは、体育の時間に走ったり跳んだり、リズムに合わせて体を動かしたり、いろいろな運動をします。休み時間には、外で元気に遊んでいます。



10月22日は運動会です。学校では、これから運動会に向けての練習が始まります。リズム運動などは、すぐに覚える子もいれば、何度も練習することで身につく子もいます。ゴールデンエイジの中でも、人それぞれです。早く覚えた子は、より大きな動作で、まだ覚えられない子は、きのうよりできることを増やせばいいのです。リレーでは、足が速い子のいるチームが強いと思っていると、練習をするうちにバトンパスで差をつけるチームも出てきます。練習の中ではたくさんの努力と、仲間と取り組む楽しみが生まれることでしょう。大きく成長するチャンスです。私たち大人の役割は、運動会当日だけでなく、それまでの過程の中での努力を認め励ましていくことだと思うのです。子供たちの応援団として。

保護者の皆様には、これまで以上に健康管理に留意していただくことになるかと思います。毎日の応援をよろしくお願いいたします。

寄付をありがとうございました

アイギハウジング社長 保母龍興様、東濃信用金庫恵那支店様より、50インチのテレビモニターの寄贈がありました。

様々な授業に活用できます。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



4年生環境学習でも使用しました